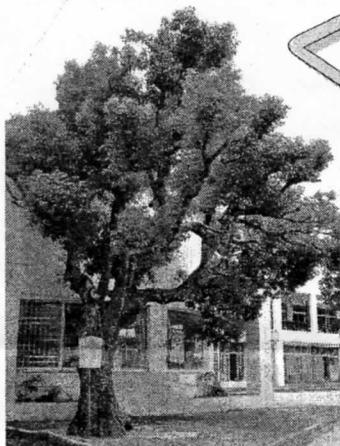




# くすの木が繁ってきました♪



剪定後、少し葉の茂りが少なくて、心配していたくすの木に元気が戻ってきました。

ご存じのように、このくすの木は校樹です。

校長室には「くすの木物語」という小冊子が保管されています。昭和61年度の職員で作成、発行は昭和62年3月24日とされています。



読んでおりますと、昭和59年頃、いったん枯れたと思われたくすの木がその年の春に芽吹き、新聞記事にまでなり、城南のシンボルとして守り育てようという気運が、学校だけでなく地域にもうまれたようです。

その後、校樹に指定、校訓もくすの木にちなんで「根よ張れ、幹よ太れ、葉よ繁れ」と決められました。

現在も「城南小のヒーロー」として、めざす児童像「くじけずにがんばる子」「すすんで行動する子」「のびのび元気な子」「きもちのよいあいさつをする子」と、はじめの文字に使われるなど、様々なところで受け継がれています。

今年度のコミュニティ・スクールの取り組みの1つとして、この「くすの木物語」冊子を復刻することにしました。(お話は、今の5年生が3年生の時、学習発表会で取り上げたそうです)

昭和61年当時、冊子を作成するにあたって、地域の方からの寄稿もあります。ご覧になりたい方は、ぜひ城南小学校校長室にお越しください。